

# 地域力をアップさせるための研修会

特定非営利活動法人 バリアフリーセンター・福祉ネット「ナナの家」  
〒201-0004 東京都狛江市岩戸北3-1-8

## 助成事業の概要

福祉ネット「ナナの家」は、「障がいのある子どもの立場に立った理解と支援を考える」をテーマに常に学び続ける必要のある支援の視点と行動問題の対処法に加え、プログラムの内容を磨くことや、アートや体あそびの専門家をお迎えして、障がいのある子どもならではの作品作りや、支援への工夫を身に着けていきたいと、以下の研修会を開催致しました。

Ⅰ赤塚先生コーディネートによる研修会

①自由な感性を引き出すアート指導…7月4日  
金子光史氏

②馬のいる活動…12月26日 高橋智氏

③発達を促すからだ遊び…1月23日 中山修氏

Ⅱ小笠原先生による見学とケース会…6月10日、  
10月8日、11月11日、2月24日

Ⅲ中山先生によるからだ遊び…4月28日、6月  
18日、9月17日、10月29日、2月5日、3  
月11日

Ⅳ赤塚先生による勉強会…10月28日、11月  
13日

Ⅴ外部研修…東京都通所施設職員研修、サポート  
研、放課後連などの研修会に参加。

## 事業の成果

この年の研修会では参加者にリピーターが数名いることに気がきました。他県から参加された方にお尋ねすると、こんなに充実した研修会は地元

ではないとおっしゃいました。

外部の方も参加される研修会は3回でした。金子氏からは、ワークショップで大作を自由に作りあげる楽しみを満喫しました。先生は元養護学校教諭ということもあり、それぞれの障がいに合わせた具材も豊富で、障がいのある人の才能を楽しみ、引き出すことを教わりました。作品は狛江市の市役所で行われた障がい者週間に展示しました。金子氏の関連ホームページにも掲載されました。高橋氏からは、私たちの目指す、馬を介在とした地域デイと就労継続支援の活動について学びました。「言い訳はしない！」という凛とした姿勢で、ここまで素晴らしい事業にしてこられたことを知りました。中山氏は、子どもたちを遊び込ませる天才です。沢山の遊びの引き出しを使って子どもたちを夢中にさせる中に、作業療法士の視点があり、大変勉強になりました。金子氏と中山氏は、その後も継続して私たちの指導にあたられています。高橋氏は静岡県で法人運営されていますが、そこで開かれたシンポジウムに、職員3名が参加してきました。

小笠原先生の見学とケース会は、実際に子どもと職員の動きを見ていただくことで、アドバイスが具体的です。夜遅くまで気になるケースについて指導していただきました。

顧問の赤塚先生による勉強会は、先生の一生を走馬燈のように見る体験となりました。時代を先取りしていらしたことが、書かれた文からわかり、改めて先生は社会資源であると思いました。

外部研修には職員が交代で参加し、その内容を職員会議で発表し、会報に報告を載せ、大勢で共

有しました。サポート研では、二日目の問題行動の事例発表を担い、大変貴重な体験をしました。

## ■ 成果の広報、公表

- ・ ナナの家の研修会は、職員の支援力のアップに加えて、地域の家族や支援者の支援力を高めることを目標として開催しています。狛江市や狛江市教育委員会、狛江市社会福祉協議会、狛江市 NPO 連絡協議会の後援を申請、チラシ・ポスターの配布も狛江市教育委員会の支援のもと行っており、多くの参加者に参加してもらえるよう工夫しています。
- ・ 一年間の研修会の報告書を作成し、CD にまとめて関係者に配布します。
- ・ 外部研修で学んだ内容は職員会議で発表し参加しなかった職員も内容を共有できるようにしており、発達支援活動の向上に役立てています。
- ・ 研修会で学んだ内容を毎回担当者がまとめ会報やホームページのブログで通所者を始め地域の人々に広く発信しています。

## ■ 今後の展開

支援の視点と制度について、繰り返し研修してきました。制度についての理解をベースにした「支援の視点」については、今後も繰り返し伝えていきます。子どもに寄り添う、子どもの立場に立つ、と話すのはたやすいのですが、実際はよほどその視点を消化しないと、指導型になってしまいます。すると子どもたちは従属しがちで、本来の能力が発揮できなくなりがちです。この、学校でもなく、家庭でもない子どもデイサービスで、障害者権利条約でうたわれているような、一人ひとりが大切にされる支援が、この連続研修会に共通する目的です。

昨年度は小笠原氏の行動問題の連続見学・ケース会、中山氏の作業療法的視点による連続からだ遊び、赤塚先生の勉強会…と、豊かな内容の研修会が続きました。プログラムに実際に役立てる目的の、オープン形式の“アートとからだ遊び”は、研修会参加者に大変有効だったと思います。参加者がそれぞれの職場で学んだことを生かしていけば、この研修成果が実ることになるでしょう。

今後は、東京都社会福祉協議会が主催する、職員研修にも参加し、職員の組織の一員としての在り方などを学びたいと思います。今まで関係した講師の方々には、継続して指導にあたっていただき、既に学び得たものは、今後も職員と共有していきます。